

令和6年度地域と学校の連携・協働体制推進事業における目標とその達成度等について

令和7年3月31日

日高川町教育委員会 教育課

日高川町教育委員会では令和6年度における「地域と学校の連携・協働体制推進事業」として、町内7つの小学校のうち5つの小学校（川辺西小学校、和佐小学校、江川小学校、山野小学校、三百瀬小学校）において「子ども未来塾」の開設を実施しました。

当該事業における当町の目標とその達成度については、以下のとおりです。

【取組内容】

地域の協力者（元教員等）が指導員となり、放課後における児童の居場所をつくと共に学習支援を行う。この居場所は夏休み、冬休み、春休みを除いた平日に週2回のペースで放課後に上記5小学校内において2時間程度開設する。

【達成したい目標】

児童と指導員との地域交流の場となる居場所をつくり、児童の学習支援に取り組み、自ら学習に取り組むきっかけづくりや学習意欲の向上等につなげる。

【目標の達成度を測る指標と目標値】

参加登録児童の保護者を対象にアンケート調査を行い、上記目標に掲げたことなどについて、児童の様子や保護者としての満足度を調査する。居場所に対して「満足している保護者の割合」を指標とし、その目標値を80%に設定する。

【事業における成果、課題点等】

5校全体で156名の参加登録児童がいて、兄弟・姉妹も参加登録している場合は、児童別の個別回答を求める保護者アンケート調査を実施した結果、96件（61.5%）から回答がありました。

開催回数については、「ちょうどよい」と回答した割合が74%あり、「子どもも参加する日を楽しみにしている」というような声も届けられ、児童と指導員との地域交流の場となる居場所を開設することができたと考えている。

また「学習意欲が向上したことや学習習慣が身についてきたことなどを感じることはありますか？」という問いには、「ある」と回答した保護者は25%ではあったが、「週2回の開設日以外の日においても、帰宅後すぐに宿題に取りかかる習慣が身についてきた」という声が多く寄せられた。

指標とした「満足している保護者割合」については、「満足」が67%、「少し満足」が17%であり、「少し満足」と回答した方々を含めると84%になった。

令和7年度の開設は無いが、「令和8年度以降で再び開設した場合、お子様の参加を希望しますか？」という問いには、「希望する」と回答した保護者は60%であった。再開に向けての課題としては、「スクールバスとの調整」や「放課後の空き教室の確保」、「参加児童数に見合った学習支援員の配置」、「学習支援員の確保」などが挙げられる。